

義肢装具士業務における自己評価

～学びの履歴と経験の可視化～

主催 (公社) 日本義肢装具士協会 東日本支部
(一社) 日本義肢協会 東京支部
(一社) 日本義肢協会 関東支部
後援 東京義肢装具協同組合

昨今、企業や社会人を取り巻く環境が変化してきており「基礎学力」「専門知識」に加え、それらを活用するための能力が重視されており、経済産業省からも「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが提唱されています。社会人基礎力とは、「前に踏み出す力」・「考え抜く力」・「チームで働く力」の3つの能力によって定義され、これらの能力を活かすには、自己を具体的かつ客観的に評価することによる「自己評価」が必要であると考えられます。

我々医療系の専門職における「自己評価」とは、日々経験する症例や事例に対する試行錯誤と自己研鑽から得た知識と技術が基になると考えます。これらの臨床経験は、カルテや臨床ポートフォリオ、症例レポートなどによって可視化することができます。この経験の可視化は、応用的な学びとして蓄積され、自己を分析・評価した新たな発展と成長を可能にするといえます。

そこで本セミナーでは、(公社)日本義肢装具士協会 東日本支部と、(一社)日本義肢協会 東京支部・関東支部との合同企画として、「義肢装具士業務における自己評価」と題して、座学と演習を交えながら義肢装具士が臨床における日々の経験について、「経験の可視化と蓄積」・「自己評価の方法」を学ぶことで、さらに能力を向上するための一助になることを目的として開催いたします。皆様の参加を心よりお待ちしております。

記

- 到達目標：
- 自己評価の必要性と方法について説明できる。
 - 義肢装具士業務における、学びの蓄積の方法について説明できる。
- 内 容：
- 自己評価とは？自己評価の必要性（講義）
 - 自己評価の具体的な方法（講義とワークシートを用いた演習）
 - 学びと経験の蓄積方法（講義とワークシートを用いた演習・蓄積事例の紹介）
- 講 師： 吉田 重和先生（新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科 准教授）
- 日 時： 平成 30 年 10 月 20 日（土） 13：00(セミナー開会)～17：00 ※12：30(受付開始)
ハロー貸会議室 秋葉原駅前 (Room B+C 連結)
- 会 場： (東京都千代田区神田和泉町 1-1-16 KONKO ビル 7 階)
(JR 秋葉原駅 昭和通り口 徒歩 2 分)
- 定 員： 50 名 ※ (一社)日本義肢協会からの参加募集の応募者を含みます。
- 参加費： 正会員・購読会員 ¥3,000 円 ・ 非会員 ¥6,000
- 締め切り： 平成 30 年 10 月 12 日（金） ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

参加ご希望の方は必要事項（会員番号、氏名、勤務先、連絡先住所、電話番号、メールアドレス）をご記入の上、下記「参加申込み受付先」E-mail、もしくは QR コードよりお申込みください。

※E-mail での申込みの場合、件名には「平成 30 年度 東日本支部 合同セミナー申込み」と記載してください。

【 参加申込み受付先 】

公益社団法人 日本義肢装具士協会 東日本支部事務局
人間総合科学大学 保健医療学部 リハビリテーション科 義肢装具学専攻内
事務局担当：富永 修一
E-mail： japo.east@gmail.com (右の QR コードをご利用ください)

